

【2016 年～2019 年】

かなぎ民俗だより



浜田市金城民俗資料館



浜田市金城歴史民俗資料館

西中国山地民具を守る会

〒697-0211 浜田市金城町波佐

TEL 0855-44-0146 FAX 0855-44-0143

文化財防火デーに伴う消防総合訓練

1 月 23 日(土)午前 10 時から浜田市金城資料館 2 館において、自衛消防隊員による消防総合訓練（通報・避難・誘導・消火訓練）を実施した。この日は、浜田市東部消防署金城出張所の職員 2 名（久保田・野上）による実地指導を受け、自衛消防隊員がそれぞれ総合訓練を体験した。

ガイド研修会を実施

1 月 23 日(土)午後から、ときわ会館会議室において観光ガイド研修会を開催した。今回は、「民俗資料回想セラピー」、「津和野藩における農民の生活と民俗資料保護の意義」、「資料館内のガイドについて」などについての研修を行った。



「民具学習」は、金城資料館で

2 月 8 日、今福小学校 3・4 年生の皆さんが金城民俗資料館へ「ふるさと学習」でご来館いただきました。事前に、ときわ会館で「パワーポイント」による映像学習の後、民俗資料館の民具を見学して「昔の道具と生活」を学習していただきました。

金城資料館では、「民具学習」のサポートを行っています。パワーポイントによる出前授業も積極的に行っています。



第41回文化講演会のご案内

演 題 『石見地方の山城が語る地域の歴史』
講 師 岩 崎 健 氏（益田市在住・島根県中世城郭研究会員）
日 時 平成 28 年 3 月 6 日(日) 午前 10 時～正午
会 場 浜田市金城町波佐 ときわ会館
入場料 無料 主催者 西中国山地民具を守る会

『石見地方の山城が語る地域の歴史』

3月6日(日)午前10時から、金城町波佐、ときわ会館において、第41回文化講演会が西中国山地民具を守る会の主催で開催されました。講師は、益田市在住の郷土史家岩崎健氏。「石見地方の山城が語る地域の歴史」と題して講演されました。浜田市議会議員、平石、野藤、森谷、上野、芦谷の各氏はじめ広島、石見地域から山城に関心のある方々が多数聴講されました。

岩崎先生は、かつては、益田市の月刊タウン誌『結』の紙上で213回(18年間)にわたり島根・広島・山口の山城調査・研究の成果を掲載された山城研究のエキスパートです。

講演では、石見地方の山城を一枚の地図上に表し、各城郭の詳細な縄張り図48葉を基に歴史的背景を解説されました。また、波佐一本松城については、島根県指定史跡にすべき遺跡であるとお話しされました。なお、地元では、6月4日(土)に「学ぶ博物館」探検隊リレー講座②「波佐一本松城を観て歩く」が開催されますので現地踏査にも是非ともご参加ください。



【お知らせ】

= 企画展 =

藍染の型紙展

—波佐地方の紺屋の型紙 500 点—

会期 7 月 1 日 (金) ~ 12 月 28 日 (水)

※土・日曜日以外は、事前予約が必要です。

浜田市金城歴史民俗資料館

企画展 『藍染の型紙展』 ～波佐地方の紺屋の型紙 500 点～

波佐地方では、江戸時代（文政～天保）から紺屋職を営み村民の藍染を一手に行っていた。この型紙は、伊勢の白子型紙で、天保年間頃のものと思われられる。

型紙は、美濃和紙を用いて、柿渋で 3～4 枚を重ね貼りした型紙紙に、錐彫、突彫、道具彫、縞彫の 4 通りの手法で 7～8 枚を重ねて、彫刻されたものです。図柄によっては、1 枚を仕上げるのに 1 か月を費やすこともあるそうです。

この型紙は、半永久的に保存が可能だと言います。今回の展示は、500 点の中から代表的な図柄 80 点を展示します。

会期：7 月 1 日（金）～28 年 12 月 28 日（水）

会場：浜田市金城歴史民俗資料館

開館日：土・日曜日 Am9:00 — Pm5:00

入館料：大人 300 円、中学生 100 円、小学生 60 円

2 館共通券、団体割引 25 名以上。

※団体などの平日の入館希望の場合は、前日までに電話予約をお願いします。

浜田市金城資料館指定管理者 ☎ 090-4697-2818（西中国山地民具を守る会）



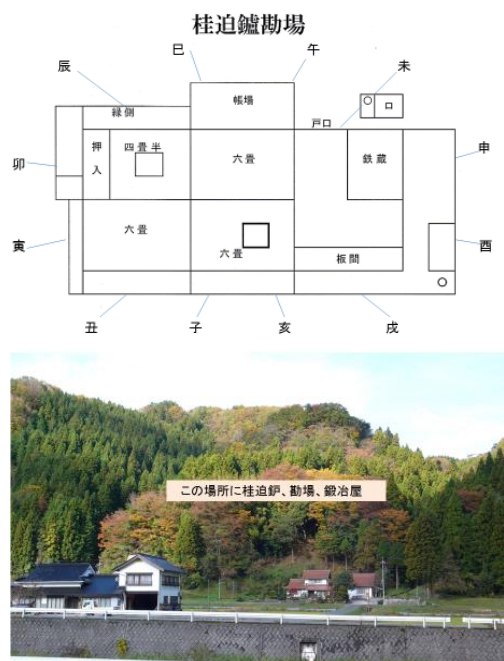
紺屋の型紙の一部

桂迫鉦の吹小屋は丸打型

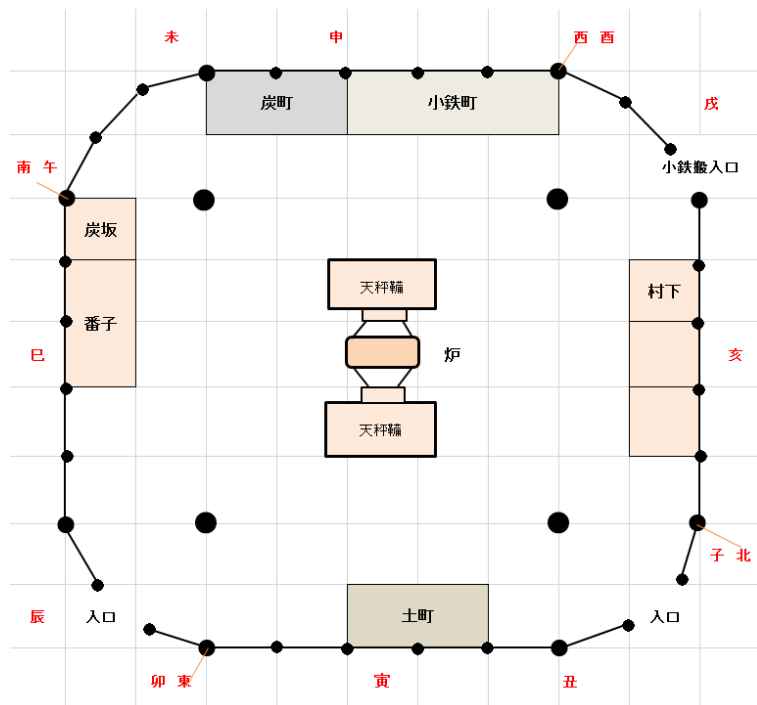
波佐の中央部に位置する桂迫鉦所は、波佐川の左岸西ビラの小高い丘陵地に鉦跡が現存している。この丘陵地は、南北 80m、東西 50m の範囲に吹小屋、小鉄請小屋、銑池、大鍛冶屋が配置され、一段高い位置に勘場が配置されていた。周辺には数か所の下小屋が立てられていた宅地跡が残っている。鉄糞や炉壁の廃材は、北側へ集中して大量に廃棄されている。

桂迫鉦関係文書の整理中に珍しいたたら文書を発見した。天保 12 年、桂迫鉦の勘場と吹小屋の打入に先だって風水による縄張り図面が発見された。そして、吹小屋の建築資材の内訳を書いた文書、鉦天秤の代金を記した文書が相次いで見つかり、吹小屋は、丸打型形式と判明した。下記の図面は、これらの文書を元に再現したものである。この桂迫鉦に関する古文書は、創生期から終末期までの全ての大福帳や取引関係の書簡など 2,000 点が揃っている。砂鉄の流通では、高津、佐田川、七居の川砂鉄 1,500 駄。井野、横山、古和、都川、小松木の真砂砂鉄。神主、敬川、折居の浜砂鉄の購入。銑鉄の流通では、山形の酒田、福岡の博多、熊本の高瀬、山口の三田尻、大阪の堺など全国への流通先を記している売仕切証など。金城歴史館民俗資料館のたたら常設展でご覧いただけます。

今後、石見地域の鉄山研究に一石を投ずる資料群である。桂迫鉦は学術調査が必要な大切な遺跡である。



桂迫鉦所の全景。写真中央の帯の部分



桂迫鉦所の風水の見立てによる縄張り図

【吹小屋】丸打型式

【風水導入】風水の見立てによる天秤座の決定。

【用材】本柱 4 本、外柱 32 本、桁 4 本、中桁 2 本、登り桁 16 本、外桁 16 本、貫 34 間、合掌 8 本。

【鉦天秤代】銀札 200 目(天保 12 年)

【小舟】天秤座から南南東線上に小舟(トンネル)を設置。

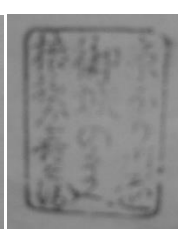
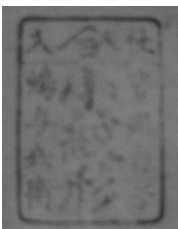
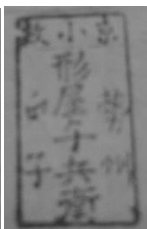
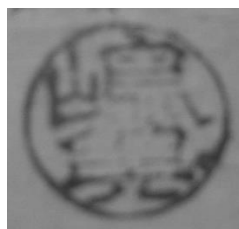
紺屋の型紙の流通が判明

金城歴史民俗資料館で開催した「企画展『藍染の型紙展』」に昨年末、三重県立美術館の生田ゆき学芸員が型紙調査のため来館され、調査の結果収蔵品の大半の型紙が伊勢の白子の作品であることが判明した。型紙の下部及び左上の欄に仕入先、仕入れ業者名が押印されていた。これによると、「嶋與」が 136 点、「京小紋勢州白子 形屋与兵衛」が 81 点、その他に「京小紋勢州白子 嶋與兵衛」、「嶋」、「仕入勢州白子 小紋形 嶋与兵衛」、「形屋弘助 仕入」、「形与」の印鑑のものが一番多く、「勢州白子 平野屋」、「泉屋仕入」、「勢州豊勘 上代」、「勢州白子 山兵」、「北勘」、「勢州白子 倉権」、「御城のまへ喜兵衛」、「勢州白子 筑木丹五郎」、「鹿」、「勢州白子 松田屋」など 32 点の型紙で業者の名前を見ることができる。11 個の印鑑の左右に勢州白子の文字が振り分けられている。また丸印と角印が 11 個ずつあり、その外に判読不能の印鑑も数種類あった。

今回の調査対象点数 492 点の内、表示のないものが 247 点あり、21 点が家紋や屋号の型紙で地元紺屋作製のものであった。一枚の型紙の表面に「形屋与兵衛」（角印）と裏面に「嶋與」（丸印）が、それぞれ印字されたものが 23 点あった。型紙の彫刻前の「熨斗」下絵（写真右中）が 1 枚残っていた。民俗資料館の「夜着」の「熨斗」の図柄や木綿布団の鶴と亀の 2 枚の婚礼布団の図柄は「筒描き染め」も併せてご覧ください。

「蝶に枝垂桜文様」の型紙は沖縄県にあるものと兄弟型紙であることも判明しています。今後、全国的な総合調査が進むと同一業者による伊勢型紙の西日本への伝播ルートが判明することが期待されます。

29 年度の企画展開催までの 6 月 30 日までは、常設展「波佐地方の伊勢型紙」として、最新情報をご覧いただけます。



文化財防火デーに伴う消防総合訓練 1 月 28 日（土）午前 10 時～11 時 金城資料館において実施
金城資料館自衛消防隊員による総合訓練（避難・誘導・通報・消火）を行ないます。

文化財防火デーに伴う消防総合訓練

浜田市金城資料館自衛消防隊員による「消防総合訓練」を 1 月 28 日(土)金城資料館において、浜田東消防署金城出張所の職員 2 名(野上・内藤)の指導の下に総合訓練(避難・誘導・通報・消火)を実施しました。



「昔の道具」学習で金城資料館見学

金城町の 波佐小学校・雲城小学校・今福小学校の 3 年生が金城民俗資料館の民具見学と映像資料による「昔の道具」学習で 2 時間のセット学習を行いました。参加児童の皆さんから礼状を頂きました。



『千年比丘一号墳と石見地方の古墳』

3 月 12 日(日)午前 10 時から、金城町波佐、ときわ会館において、第 42 回文化講演会が西中国山地民具を守る会の主催で開催されました。講師は、松江北高等学校教諭大谷晃二氏。「千年比丘一号墳と石見地方の古墳」と題して講演されました。大阪、広島、石見地域から古墳に関心のある方々が多数聴講されました。

大谷先生は、浜田高校在勤中に千年比丘一号墳を発掘調査され、25 年ぶりの講演となりました。講演では、①古墳時代とは。②千年比丘一号墳の調査。③石見の古墳について。特に、千年比丘一号墳の墳丘、埋葬施設、埋葬順序の推定、木棺の復元、時期について古墳文化が判り易いお話を頂きました。

土師器編年(小谷式土器)から、出土した鼓形土器は 3 世紀 4/4~4 世紀 1/4 であると発表されました。埋葬施設の真上に置かれた「石主」(弥生の砥石)と鼓形器台の祭祀の分布が重なる弥生後期から古墳前期墳墓は中国地方でも数少ないことが判った。映像を観て楽しい古墳学習が出来た一日でした。



企画展「『たたら製鉄』と地域経済」

浜田市金城歴史民俗資料館で収蔵している鍋滝鈎、栃下鈎、桂迫鈎、長沢鈎に関連する「たたら古文書」4,200点によって、今回の企画展を開催する運びとなった。

特に、桂迫鉦を中心とした、たたら製鉄の原料である砂鉄(山・川・浜)の流通の全容が解明できたこと。銑鉄(鋤・銑)の全国への流通。金屋子神の信仰形態。鉦所開設に伴う周辺農民との議定書の締結。丸打型吹小屋の用材と数量。風水による鉦所の縄張り。番子の循環型仕事の内容。鉄山関係者(芸州・石州)の頼母子講による資金調達の様態。津和野藩へ納めた運上銀のことなど最新の情報を展示します。

会 期：7月1日(土)～30年3月31日(土)

會 場：浜田市金城歴史民俗資料館

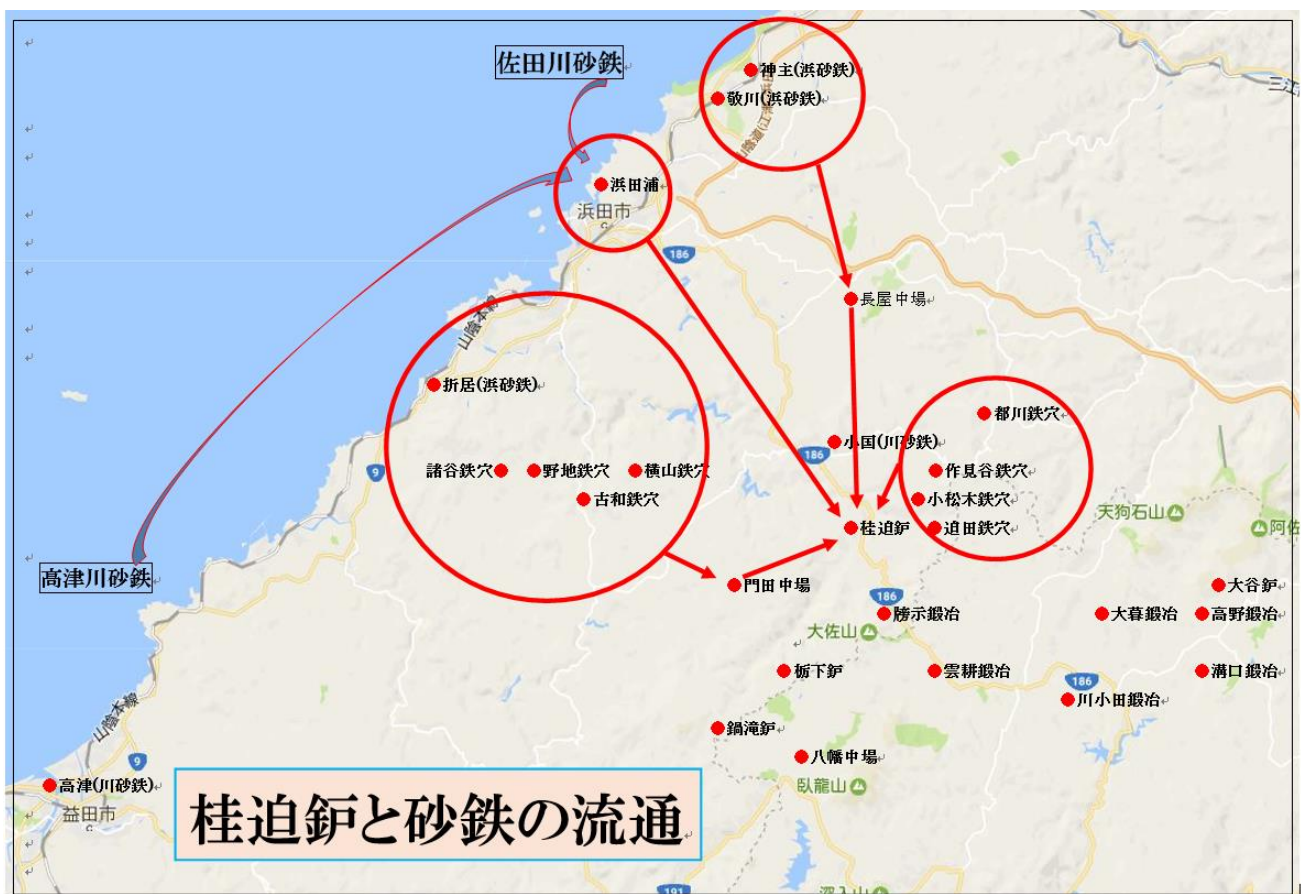
開館日：土・日曜日 Am9:00 — Pm5:00

入館料：大人 300 円、中学生 100 円、小学生 60 円

2館共通券、団体割引 25名以上

※ 団体などの平日の入館希望の場合は、前日までに電話予約をお願いします。

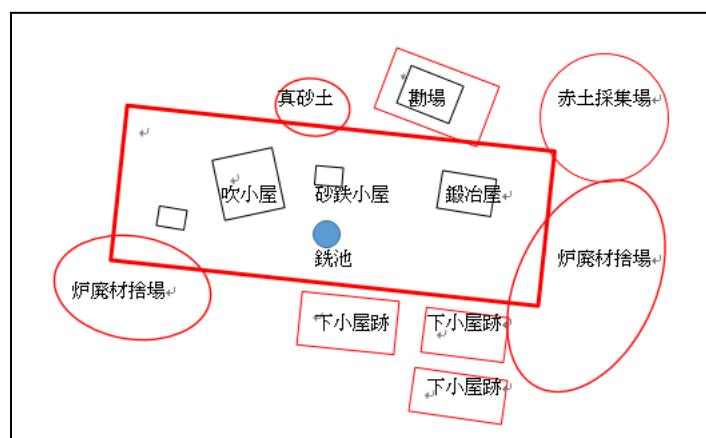
浜田市金城資料館指定管理者 ☎090-4697-2818 (西中国山地民具を守る会)



桂迫鉦所へ運ばれた、浜砂鉄、川砂鉄、山砂鉄の流通4パターンを表示する。

「カルチャーミュージアム（学べる博物館）」 探検隊リレー講座 たたら企画展を見学

7 月 22 日（土）に、第 2 回講座「たたら製鉄関係遺跡」を観て歩く、が開催されました。午前 9 時にときわ会館をスタートして現地踏査で栃下 I 鉦、同 II 鉦を見学後、桂迫鉦を訪問。山内の縄張りとお舟の陥没跡から、丸打型吹小屋位置を確認。鉦図面から方位によって銑池跡、小鉄小屋、小鉄洗い場、勘場跡、真砂採集場所、赤土採集場所、鍛冶屋跡、下小屋跡、廃炉捨場など現地で大きさ、規模などが確認できた。引き続き、大潰鉄穴を訪問して、砂鉄の採集地を見学後、ときわ会館へ戻り昼食・座学（パワーポイントによるたたら製鉄講座）、を視聴後、金城歴史資料館の企画展「たたら製鉄と地域経済」を見学して、後 3 時に散会した。写真は、桂迫鉦所の勘場跡をバックに撮影。



桂迫鉦所は、天保 12 年 8 月から吹小屋など建設が始まり、翌 13 年より操業が開始された。経営者の古和定助は、鉦経営について、①古鉦（桂迫鉦）=天保 12 年～安政 3 年迄、佐竹屋（三浦彦太郎）と弋手（古和定助）合事（共同事業）。②新鉦（桂迫鉦）=安政 3 年～安政 6 年迄、弋手と森三郎の合事（共同事業）。③後鉦（桂迫鉦）=安政 6 年以降、慶応 3 年迄、弋手、一分稼ぎ（単独事業）之事。と経営状況を記録している。

企画展『たたら製鉄と地域経済』

会 場：浜田市金城歴史民俗資料館 会 期：7 月 1 日～30 年 3 月 31 日（土）

開館日：土・日曜日 Am9:00 — Pm5:00

入館料：大人 300 円、中学生 100 円、小学生 60 円。2 館共通券、団体割引 25 名以上

※ 団体などの平日の入館希望の場合は、前日までに電話予約をお願いします。

浜田市金城資料館指定管理者 ☎090-4697-2818（西中国山地民具を守る会）

文化財防火デーに伴う消防総合訓練

毎年1月26日が文化財防火デー(法隆寺の金堂(国宝)が火災で焼失した日)をと定められています。金城資料館では、自衛消防隊を組織して、毎年、この時期に消防訓練を行っています。1月27日、浜田市東部消防署金城出張所員(小林、上原)2名の指導の下、消防総合訓練(通報・避難・誘導・消火)を行いました。

資料館ガイド研修会

金城資料館の指定管理者である西中国山地民具を守る会では、5月から企画展『能海寛生誕 150 年記念』を実施するため、能海の業績と生涯を学び、事前のガイド研修会を実施しました。



総合的な学習／社会科の学習で金城資料館へ

2月2日、雲城小学校3年生(25名)が、「民具をみることで、昔の人々の生活を知り、先人の工夫や努力について学ぶ学習」で金城資料館へ来館されました。いろいろの間で、4名の代表が横座、瀬戸座、沖座、下尻座に配置し、それぞれの約束事。機能について体験しました。昔は、全農家が紙漉きを行っていたこと。各家庭で家族の衣類を主婦が機織りをしていたこと。江戸時代は、紙布の作業着が大半を占めていたこと。たたら製鉄の盛んだった時は、農家で馬を飼育して、砂鉄や銑鉄を運搬して駄賃収入を得ていたこと。たたら製鉄が消滅してからは、炭焼きで農家収入を得ていたことなどを学習しました。



第 43 回文化講演会

日 時 3月11日(日) 午前10時～正午

会 場 ときわ会館(波佐公民館)

演 題 『波佐一本松城と陣城遺構について』

講 師 山根正明氏(島根県中世史研究会世話人)

主催者 西中国山地民具を守る会

入場料 無 料

浜田市金城歴史民俗資料

浜田市金城町波佐イ 438-1

Tel 0855-44-0146 / Fax 0855-44-0143

特徴／「二丁鞆たたら」の復元展示。たたら製鉄関係資料(たたら用具・鍛冶屋用具・たたら古文書)。チベット巡礼探検家・能海寛と日本近代劇の父・島村抱月の資料。埋蔵文化財。紺屋の型紙など展示。
開館時間／9：00～17：00（土・日曜日以外は前日までに要予約。携帯電話 090-4697-2818 へ）

休館日／祝祭日、年末年始：休館

交通／JR 浜田駅より波佐バス停下車 3 分。高速浜田道浜田 IC から 22Km。

駐車場／自家用車 30 台、大型バス 3 台（隣接のときわ会館）

主な収蔵品／チベット将来品（仏典・仏像・経典）市指定歴史資料「能海寛関係資料」。たたら資料（鉄穴流し用具・たたら場用具・鍛冶屋用具・たたら関係大福帳）、埋蔵文化財など 12,000 点を収蔵。



浜田市金城歴史民俗資料館



チベット巡礼探検家・能海寛資料



たたら製鉄関連資料



二丁鞆たたら(復元)

能海寛生誕 150 年記念協賛事業

企画展『能海寛が目指した世界平和』

期 間：平成 30 年 5 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

会 場：浜田市金城歴史民俗資料館 浜田市金城町波佐イ 438-1

開館日：土・日曜日・9:00～17:00

入館料：大人 300 円(200)、中学生 100 円(60)、小学生 60 円(30)

2 館共通料金です。団体割引は、25 名以上 0 内の金額です。

能海寛生誕 150 年記念企画展

『能海寛の目指した世界平和』

戦争の無い世界平和を願い「宗教学」の完成を目指した。明治 21 年 10 月から「新仏教徒」運動を興し、『NEW BUDDHIST』の創刊で英文による仏教発信とサンスクリット經典を入手して世界 5 億の仏教徒に統一した英訳經典の訳出を生涯の仕事とした。



能海 寛師

浜田市金城歴史民俗資料館

会 期 平成 30 年 5 月 1 日(火)～平成 31 年 3 月 31 日(日)

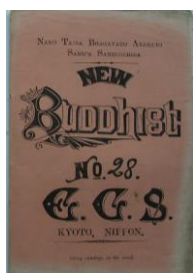
開館日 土・日曜日 am9:00—pm5:00

入館料 2 館共通(大人 300 円、中学生 100 円、小学生 60 円)

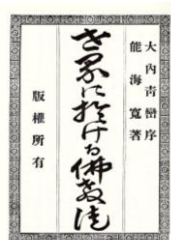
団体割引 25 名以上(閉館日の見学を希望される団体は、事前予約願います。 ☎090-4697-2818

能海 寛 略歴

能海寛 法名法流。 石峰と号す。明治元年 5 月 18 日島根県浜田市金城町長田（当時は東谷村）浄蓮寺に生まれる。12 歳で得度し、慶応義塾と哲学館に学ぶ。恩師南條文雄師の意思を継ぎチベット探検の論文『世界に於ける佛教徒』を発表すると共に語学の研究と山岳登山による体力の練磨をなす。郷里にあつては地方史を編纂して和歌を詠み、益田沖の高島にて寺小屋を開設する。哲学者、探検家、宗教家として釈迦直伝の大藏經の經典を求め英訳經典世に出す目的で当時鎖国中であつたチベットへ求道のため身を挺し仏教巡礼探検を实践した功績は偉大で有言実行と用意周到さは後世に幾多の教訓を残す。その苦難の 34 年の生涯に「般若心經」西藏文直訳（梵・藏・漢・英）など四巻が著書として永遠に伝う。



『NEW BUDDHIST』



『世界に於ける佛教徒』



「滅十罪經」經典とジャンバラ神



西中国山地民具を守る会 50 周年記念行事

(金城民俗資料館 45 周年・歴史民俗資料館 40 周年)

と き 平成 30 年 11 月 11 日(日)

ところ ときわ会館 浜田市金城町波佐

◆ 記念式典 午後 1 時～2 時

『実践民俗学提唱 50 年の歩み』

50 年間の活動記録をパワーポイントによる映像を視聴していただきます。

◆ 記念講演 午後 2 時～4 時

演 題 「『宝は田から』～これからの民俗学・民具学」

講 師 佐 野 賢 治 氏(神奈川大学教授)

入場料 無料

主催者 西中国山地民具を守る会

◆ 金城資料館見学会 午後 4 時～5 時

金城資料館(2 館)の解説・ガイドを行います。

金城資料館開館 45 周年と民具を守る会 50 年間の集大成として記念行事を開催します。どなたでも、記念式典からご参加いただければ幸いです。式典は、50 年間在籍の 4 名に感謝状を贈呈して、直ぐに、パワーポイントによる実践民俗学を提唱して記録作成を行った、紙漉き習俗、麻の栽培・麻蒸し、農具を用いた労働慣行など。民俗資料回想セラピーの映像をご覧ください。

歴史民俗資料館では、現在、「能海寛生誕 150 年記念特別展『世界平和を目指した能海寛』」を開催中です。資料館見学会に併せて御観覧下さい。※見学会時は、無料入館としております。

波佐小学校における『ふるさと学習』の実践

金城資料館では、市内の各小学校を対象に、「ふるさと学習」の支援活動を行っています。「民具」学習で金城資料館見学・ふるさとの偉人「能海寛」、「島村抱月」の資料館見学。学校現場へ出向いて行う「出前授業」を推進しています。今年度は、波佐小学校が資料館見学2回、出前授業1回行った詳細をお伝えします。1月下旬には、雲城小学校3年生の「資料館見学」が予定されています。お礼にいただいた壁新聞は、歴史民俗資料館に掲示しています。

ふるさとの偉人学習「能海 寛」 3学級(5・6年生)

事前協議：担当教諭との打ち合わせ(10月2日)

事前学習：授業で、まんが『西蔵探検家 能海寛』を教材に事前学習で読書する。(10月上旬)

輪読：授業で各自役割を決めて、輪読する。(10月11日)

出前授業：パワーポイントによる「能海寛」の出前授業(10月15日)

金城資料館見学：歴史民俗資料館・能海寛資料の見学会(10月23日)

発表の取組：学習発表のための資料作りと上げいこ(10月24日～11月10日)

学習発表会：「能海寛と夢」を発表(11月11日)

壁新聞の発行：「能海寛と夢」作成(12月20日)



波佐小学校5・6年生の活動状況



「古い道具と昔の暮らし」学習 2学級(3・4年生)

金城資料館見学：古い道具と昔の暮らし」学習で民俗資料館を見学(11月4日)

囲炉裏の間で、よこぎ、せど、おき、しもじり、に主人、主婦、お客さん、子供の役割を分担して座り、囲炉裏のあった時代の機能や約束事などを体験しました。

2学期末に3・4年生全員からお礼状をいただきました。



文化財防火デーにちなみ消防訓練実施

昭和 26 年 1 月 26 日早朝に、法隆寺の金堂の壁面の大半が焼損したことで、昭和 30 年に文化財防火デーが制定されました。金城資料館自衛消防隊による防火訓練は、昭和 45 年から毎年実施しています。

今年は、文化財防火デーである 1 月 26 日に、消防総合訓練(避難・誘導、消火)を実施しました。急な積雪の為除雪作業の後に消防訓練を実施、その後館内ガイド研修会を行った。



「古い道具と昔の暮らし」

1 月 23 日(水)に、雲城小学校 3 年生 27 名が民具見学で金城民俗資料館へ来館して、「古い道具と昔の暮らし」をテーマに学習しました。織物(紙布、麻布、絹、木綿)、仕事着、寝具、農具、紙漉き用具、山仕事(木こり用具、炭焼き用具)、飲食用具など館内のガイド説明の後、民具のスケッチ、質問など。特に囲炉裏の間での体験学習に関心が高かったようです。嫁入り駕籠の体験もしました。



民具のスケッチをする雲城小学校 3 年生



雲城小学校 3 年生「昔の道具と暮らし」学習で金城資料館見学

特別展『たたら製鉄と港・浜田』 —古文書から読み解く地域経済—

浜田開府 400 年を記念して、特別展を下記の通り開催します。
江戸時代に山間部で栄えた、たたら鉄は、港・浜田から全国へ北前船で搬送された。特に浜田浦から砂鉄の陸揚げ、銑鉄の輸出で港・浜田は賑わった。石見部の馬飼育農家は駄賃稼ぎで潤った。

桂迫鉦を中心に 6,000 点のたたら古文書で、石見地域と広島北部のたたら製鉄を通して、人(職能技術)・物(砂鉄・銑鉄)・金(藩札・頼母子講)の交流が行われた。特別展では、古文書で解明できた地域経済を中心に展示を行います。

この度、特別展来館者に配布し、たたら製鉄をより深くご理解いただくために、解説用冊子『たたら製鉄と港・浜田』(A5 判カラー・16P)を発行しました。

会 場：浜田市金城歴史民俗資料館

浜田市金城町波佐イ 426-1

TEL0855-44-0146

会 期：5 月 1 日(水)―12 月 27 日(金)

開館日：土・日曜日(9:00-17:00)

団体等で、上記以外をご希望の場合は、前日までに電話予約ください。

入館料：大人 300 円、中人 100 円、小人 60 円、団体割引は、25 名以上

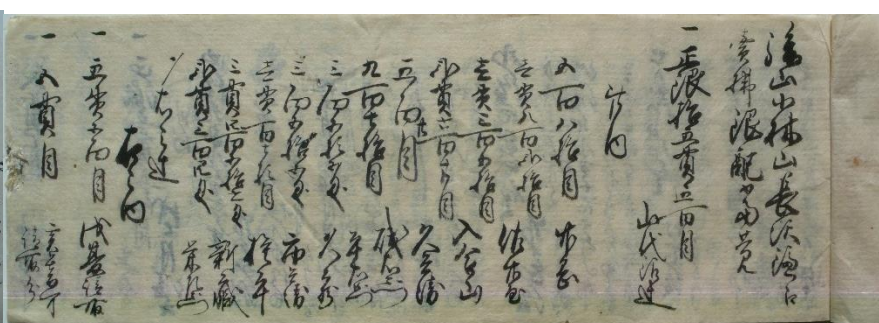
隣接の浜田市金城民俗資料館と共通入場券です。



たたら製鉄解説用冊子を発行



風水による鉦場の図



長沢鉦所付の小林山の売買記録



桂迫鉦所の大福帳保管箱



鍋滝泊小屋山内絵図



『鉦日帳』の記録内容